

平成25年 2月19日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 三田源幸

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成24年 7月28日 14:00 ~ 20:00
視 察 先	市民と議会の条例づくり交流会議2012(第12回) (法政大学 千代谷キャンパス)
調査事項	議会改革について
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	・調査報告 動き出した議会改革—なにがわかり、なにがかわり、なにがでないのか、 長 野 基 (首都大学 東京准教授) ・基調提起 「市民自治体の夢がみえてきた—合議体ならではの役割」 廣瀬 克哉 (自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表) 1. 市民政策提案制度への切望 自治基本条例が提案する市民による自由な政策提案制度 で提出のハードルは低く、公開の場での審議を保障、結果の 公表等、制度は自治体にすでに存在しているが、 新たな制度が切望されている現状 2. 議会改革のアウトプットとアウトカム 議会報告会の実施議会数は激増し、議会の 情報発信、透明化も進展している。 見えていないのは「成果として何を生み出したか」、 議会の道具箱は充実したが、それを使って何が良くなったのか、 3. 意思決定の成果をどう達成するか 同じ原案可決でも「読み」が異なれば取る、捨てるがあり、 議員間討議の質を示す他ない。 住民とのコミュニケーションにより、議会審議の論点を 伝えたことを通して世論形成と応答をする

4. これからの議会改革の課題

- ・知れた道具をどう使いこなすか
- ・低レベルの議論からの脱却、裏取りきの意見交換の仕組み

5. 当面の具体策の壁

- ・代表制への異議申立てを受け止めるか
- ・議会報告会をどうやるか
- ・議会のチェック機能のレベルアップ
- ・市民と議会スタッフを育てる

・パネルディスカッション 「復興と議会」

コーディネーター

饗庭 伸 (首都大学東京准教授)

パネラー

藤原のりお (宮城県議会議員)

菅野 広紀 (岩手県陸前高田市議会議員)

小黒 敬三 (福島県浪江町議会議員)

日 時	平成 24 年 7 月 29 日 9:30 ~ 15:30
視 察 先	
調査事項	
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	・全体会 「自治法改正を使いこなし」 9:30 ~ 11:30 1- ティーナー 江藤俊昭 (山梨学院大学教授) 基調講演 パネルディスカッション、パネラー 片山善博 (前総務大臣 慶應義塾大学教授) 中尾 修 (総務府研究員 第30次地方制度調査会臨時委員) 寺田 雅一 (総務省自治行政局行政課地方議会企画官) ・分科会 12:30 ~ 15:00 ○第1分科会 「住民投票条例」 — 住民意思を反映させるポイントはこれだ — 1- ティーナー 辻山幸宣 (地方自治総合研究所所長) 事例報告 中村 映子 (原発郡民投票条例請求事務局) 小山仁志 (長野県佐久市議会議員) コメン ト 中尾 修 (総務府研究員、元衆議院議員事務局長) ○第2分科会 「議会報告会」 — 市民との対話の積み重ねが、議会を討論の広場へと変えた — 2- ティーナー 廣瀬亮哉 (法政大学教授) 発表 寺本さなえ (兵庫県宝塚市議会議員) 福島光浩 (島根県雲南市議会議員)

コメン ト 蒲田 雄輔 (サキヤリ-茨木)

○第3分科会 「計画・評価と議会」

一 事業・政策・計画は議会がチェック・判断・評価する一

コメン ト 菊地 端夫 (明治大学准教授)

報告 高柳 俊哉 (さいたま市議会議員)

内田 勝廣 (茨城県常陸大宮市議会議員)

林 定信 (市政まるごとしつけ隊 長岡京市)

コメン ト 窪田 好男 (京都府立大学准教授)

○第4分科会 「議会事務局改革」

一 市民自治体の意思決定機関 "議会"を支える議会事務局改革一

コメン ト 江藤 俊昭 (山梨学院大学教授)

発表 高沖 孝宣 (議会事務局研究会)

寺川 純一 (議会事務局実務研究会)

井島 慎一 (元会津若松市議会事務局)

伊田 昭三 (議会基本条例を考える会 川口市)